

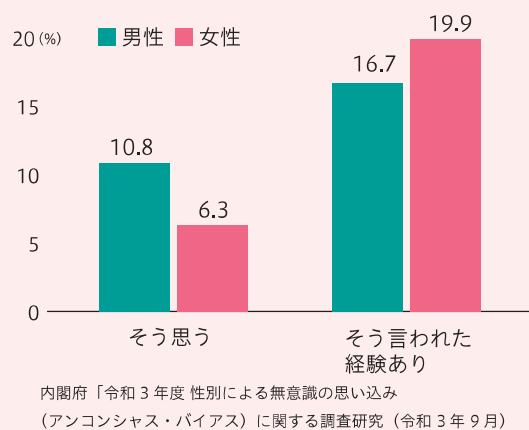
アンコンシャス・バイアスと進路選択

進路に影響を与えているのは？

「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という項目の「そう思う」は男女ともに1割程度ですが、女性の2割は直接・間接的に言われた経験をしています。理工学部系を専攻する女子学生が少ない要因としては、「周囲の女子の進学動向」、「親の意向」、「身近なロールモデルの不在」が挙げられます。

「男は理系、女は文系」といった無意識の思い込みは、女性の進路選択や将来の夢を制限する大きな障害となっています。親や祖父母、学校や幼稚園・保育園などの周りの大人がこれらの無意識の偏見をなくし、こどもの能力や可能性を認め、こどもが自由に自分の興味や関心に基づいて進路を選択できるよう環境を整えることが大切です。

女性に理系の進路(学校・職業)は向いていないと思う人の割合

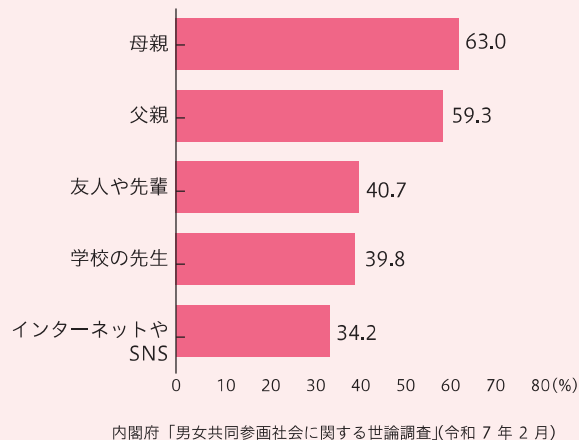


「無意識の思い込み」にとらわれないために

男性の育児休業取得率は増加しているものの、未だに女性に比べ低い割合にあるのは、職場や親などの「男は仕事、女は家庭」という根強い固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに加え、男性自身が家計を支えるべきという「大黒柱バイアス」も影響していると考えられます。

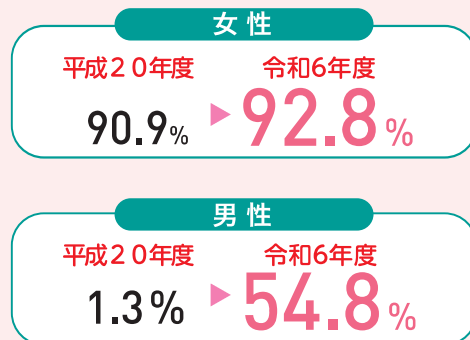
アンコンシャス・バイアスの問題点は、長年続いてきた制度や仕組み、慣習が時代の変化に適応できていないにもかかわらず、それに気づかずに無意識に正しいと信じ込み、自分の考え方や価値観を他者に押し付けてしまうことにあります。そのような時には、一人ひとりが自分の役割と責任を果たすという意識を持ち、お互いを尊重することが大切です。

進路選択に影響を与えるもの

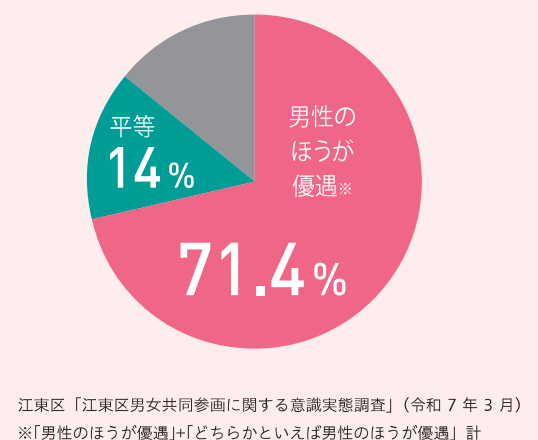


性別にかかわらず、誰もが無意識の偏見を乗り越え、自分のライフスタイルや価値観に基づいて自由に選択し、自分らしく生きることができる社会を目指していくことが重要です。

育児休業取得率



男女の地位の平等感(社会全体)



まずはアンコンシャス・バイアスに気づくこと

Point 1

「べき」「普通は・・・」に注意

「男性なら残業すべきだ」「普通は女性なら結婚すべきだ」本当にそう言いえますか？「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は・・・」といった決めつけの言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

Point 2

相手の「サイン」を見逃さない

家族や友人、同僚と話しているときに、急に相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか？そんなときは、自身のアンコンシャス・バイアスから出た言葉で相手を傷つけたのではないかと振り返ってみてください。

Point 3

常に自分に問いかける

アンコンシャス・バイアスを完全に払拭するのは難しいです。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモしていけば、自分の考え方や物の見方の傾向がつかめるかもしれません。

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるものだ、ということを知ること、そして自分がどのようなバイアスを持っているのかに気づくことが大切です。

普段から自分自身に「思い込み」や「決めつけ」がないか、自己認識を深めましょう。アンコンシャス・バイアスへの気づきは、周囲の、そして自分の多様性を認めることの第一歩となり、自分らしく活躍し、暮らしやすい社会へとつながります。

政府広報オンライン「アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント！誰もが活躍できる社会に」
<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/unconsciousbias/>

性のありかたは多様です

ソジ

■SOGIとは？

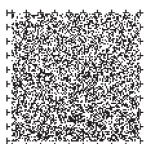
SOGIとは、以下の頭文字をとった言葉です。性を構成する要素をあらわす言葉であり、身体的性別などとともに、誰もが持つものです。

- ・性的指向 (Sexual Orientation)
どの性別に性的感情が向くか向かないかを指します。
- ・ジェンダーアイデンティティ (Gender Identity)
自分の性をどのように捉えているかを指します。

■「カミングアウト」と「アウティング」

自分のSOGIのあり方を他人に打ち明けることを「カミングアウト」といいます。カミングアウトをするか・しないか、どのようにするのかなどは、本人が決めることであり、他人が強要することは許されません。そして、カミングアウトを受けたら、「アウティング」することがないよう十分に気を付ける必要があります。

アウティングとは、誰かの性のあり方を、本人の了承なく勝手に第三者に伝える行為のことです。アウティングは、たとえ善意でも重大な人権侵害であり、決して行ってはなりません。



LGBT等相談

区では、性的指向およびジェンダーアイデンティティに関する悩みや不安などについて相談窓口を開設しています。家族、職場、支援者など周囲の方も相談できます。

■電話相談【予約不要】 毎月第3木曜日(祝日除く) 17時～20時 ☎03-3647-1171(相談専用)

■面接相談(来所またはオンライン) 【要予約】毎月第2火曜日(祝日除く) 17時～20時
予約：☎03-3647-1163(平日9時～17時) ☒0587010@city.koto.lg.jp 区ホームページ(右上2次元コードより)



江東区パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

性の多様性が尊重され、価値観や生き方などさまざまな違いに理解のある社会を促進し、婚姻関係にないパートナーの2人やその親族が家族として暮らしやすい環境づくりにつなげるために、「江東区パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を実施しています。

■パートナーシップとは

性別等にかかわらず、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において継続的に協力しあうことを約束した2人の関係

■ファミリーシップとは

パートナーシップにある2人と、その一方または双方の子または親との家族としての関係

■手続き方法

- 1 区ホームページまたは電話(03-3647-1163)で予約
- 2 予約した日時に、男女共同参画推進センターへパートナーの2人がそろって必要書類等を持参
- 3 書類を確認後、受領証明書等を交付。詳細は、区ホームページをご確認ください。

